

■通常事業評価シート【R5年度実施事業／財務部市民税課による自己評価】

(単位：千円)

No.	事業名	総合計画での位置付け (個別目標)	事業の目的 (誰をどのようにするか)	事業の手段 (今年度の主な活動結果)	事業の目的達成に 近づいたか	今後の 方向性	事業費 (決算見込額)	人件費 (参考値)	コスト 合計	事業の課題	今後の改善ポイント	備考
1	罹災証明書等発行事業	災害などの非常時への準備が進められ、強靱な環境になっている	災害被害者の福祉の増進を図るため、罹災証明書等の交付を固定資産税課とともに行う。	調査関係と証明発行関係で固定資産税課と協議の上マニュアルを分割し、人員配置などの確認等を行った。	4：大いに近づいた	継続		2,838	2,838	業務ごとにマニュアルを分割したが、実際の業務に沿った内容かの確認作業が必要。	関係課（危機管理課、固定資産税課など）と適宜協議を進めていく。	
2	市民税課管理事務事業	持続可能で信頼される行政になっている	課内・部内の円滑な運営を遂行するため、庶務全般を効率的に行う。	課内・部内の円滑な運営を遂行するため、庶務全般を効率的に行った。	5：達成した	継続	11	13,796	13,807	円滑に庶務事務を行っているため特に課題となる事案なし。	課題となる事案が発生した場合、担当内で協議をする。	
3	税証明発行事業	持続可能で信頼される行政になっている	納税義務者の利便を向上させるため、税に関する証明の交付を行う。	マイナンバーカード所持者に限り、税証明をオンライン申請できるようにした。	5：達成した	継続		10,792	10,792	システム標準化への対応は業務担当課となるはずだが、税証明の発行業務を市民税課が行っているため業務担当課との認識のずれがある。	システム標準化や庁舎建替による窓口体制の見直しなど、各税証明書担当課との協議が必要。	
4	臨時運行標識貸出事業	持続可能で信頼される行政になっている	臨時運行標識貸出希望者の利便を図るため、臨時運行標識の貸出を行う。	臨時運行標識貸出希望者の利便を図るため、臨時運行標識の貸出を行った。	3：おおむね近づいた	継続		2,435	2,435	期限内に返却しない人に対しての催告の方法	現在は電話や文書での催告のみとなっており、近隣市の状況を確認したうえで催告方法を協議していく。	
5	市民税等賦課事業	持続可能で信頼される行政になっている	市税収入の確保を図るため、市民税、軽自動車税、市たばこ税及び入湯税等の適正な賦課、減免、諸報告等を行う。	適正な減免のための点検体制の強化や課税漏れ防止のための調査を行った。	1：少し近づいた	継続	46,562	103,126	149,688	適正賦課のための賦課内容の確認や電子申告等来庁することなく手続きが可能となる方法を導入するなど、課税漏れ防止のための方法の検討	住民税電子申告開始に向けての準備、課税漏れがないか等の調査方法などをさらに進め、適正な運用ができるよう担当内で協議を進めていく。	
6	賦課等システム運用事業	持続可能で信頼される行政になっている	市民税等を公平かつ適正に課税するため、賦課システムを適切に管理運用する。	森林環境税や定額減税、特別徴収電子化に向けたシステムの改修や事務運用の見直しを行った。	2：一定近づいた	継続		11,100	11,100	現状のシステムの運用を適切に行うための体制の強化、および標準化に向けた現システムの問題点や課題などの洗い出し	人事異動等で担当者が変わった場合にも事務レベルが維持できる運用方法の見直しやマニュアル作成の徹底	
7												
8												
9												
10												
11												
12												